



信楽中学校校報

令和2年度 第11号

(令和2年12月25日発行)

特別な一年の終わりに思うこと・・・。

今年、1月以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベントの中止や全国一斉で学校が休校になるなど、大変な一年となりましたが、振り返ると、一連の騒ぎから、自分自身の生き方につながる多くの教訓が得られたと感じています。

まず、科学的な知識をもとに「正しく知り、正しく恐れる」ことが大切であるということです。

コロナウイルスは、はしかのように空気感染がしないことが判っています。消毒、手洗い、換気などで感染を抑止できるということです。このことを念頭に、自分自身の行動の仕方や生活の仕方を考え、工夫することができます。

次に、余計な情報に惑わされず、冷静な行動が大切であるということです。

ある人が流したツイートにより、「トイレトペーパーがなくなる」というデマがまことしやかに流れ、トイレトペーパーを買い占める人が出てきたことから、生活必需品がなくなるとはいけないと心配した人がさらに押し寄せる。日本中の店頭からトイレトペーパーがなくなりそうになるという社会現象も起こりました。デマやSNSであつという間に拡散し、それが乗り遅れてはならないという心理になり、情報が氾濫するネット社会の危険性も考えさせられた出来事でした。

また、差別や中傷への強い憤りを感じました。国内では、クルーズ船に乗っていたということだけで悪人呼ばわりされたり、医療関係者というだけで子どもが保育園の登園を断られるといった事案まで発生しています。いったん感染者が出たとの情報が入ると、様々な憶測が飛び交い、過剰な反応により、感染者やその家族が辛い思いをされることも全国のあちこちで起こっていたようです。

「ひとごと」「よそごと」と遠いところで起こっているからあまり意識していなかったことが、「自分の近く」に近づいてきたとき、自分はいったいどんな行動をとるのだろうか。

2学期は、本校も全学年で人権学習を行い、誰もが、人として認め合い、尊重されることの大切さについて学習してきました。根拠のないうわさや偏見に惑わされることなく、正しく知り、当事者の思いに共感するなかで、自分の生き方を振り返り、今後の生活にどう生かしていくのか。自分自身が胸を張れる生き方をしたいものだと担任と子どもたちで話し合ってきました。

前述したようなコロナウイルスのかかるエピソードから、人の弱さや、自分自身の生き方について、今一度見つめなおす機会となった1年でもありました。

さて、いよいよ冬休みに入ります。今年は例年よりも短い冬休みとなりますが、遊びに行ったり、初もうでに行ったりと出かける計画をしている人がいるかもしれません。第3波に収束の見通しもないことから、人混みは極力避けましょう。交通事故に気をつけることはもちろん、冬の時期だけにインフルエンザなども十分気をつける必要があります。体調が悪い時には出かけないことや、マスクの使用やせきエチケットなど、新しい生活様式に沿った生活をしていくことは、自分の健康だけでなく、友人や周りの人のことも考えた、中学生としての責任ある行動だといえます。

例年より短い休みではありますが、1年の振り返りをしっかり行い、年始には、新年の目標を立てて、新たな気持ちで3学期を迎えましょう。

2学期の学習や活動から

◇2年生職業講話

「仕事を通して、生きる意味を感じながら、将来の仕事についてもらいたい。」



森工務店 森 昌智さん（一級建築士）
トヨタカローラ 河合仲彦さん、山田悠貴さん
信楽窯業試験場 高畑宏亮さん
はたスポーツ整形 古川佳奈さん（スポーツトレーナー）

職場体験実習が中止となった2年生は、その代替として、町内、市内、県内から4名の方に教室にお越しいただき、職業講話をしていただきました。



◇PTA交通安全教室



◇生徒会新執行部

10月14日、新生徒会役員選挙が実施され、生徒会長には、青木樂来さん（2年）、副会長には、平尾 峻さん（2年）神山美優さん（1年）が選出されました。新執行部は以下の通り。

（敬称略）

会 長	青木 樂来	
副会長	平尾 峻	神山 美優
書 記	井上 温葉（2年）	大西 那月（1年）
会 計	山田胡太郎（2年）	一谷 優希（1年）
議長団	小倉 礼恩（2年）	村木 宏宇（2年）
	谷井 秋星（1年）	反田あすか（1年）
図 書	杉本倅志朗（2年）	洞 磨利愛（1年）
給 食	鶴飼 凜華（2年）	大谷 沙椰（1年）
環 境	中切 環（2年）	岩永 はな（1年）
福 祉	宮嶋 俊輔（2年）	村木日向子（1年）
健 康	小谷 歩（2年）	洞 海來斗（1年）
広 報	葛原 里莉（2年）	松本 瀬奈（1年）

◇1年親子ひびきあい活動



みんなが安心して生活できる学校づくりに向け
生徒会も取り組みます。

◇鳴門教育大学 久我直人教授講演会（10/27）

「人のことを大切にして聴く」「幸せになるために」

10月27日（火）今年度本校の校内研究アドバイザーの鳴門教育大学久我教授が生徒に向けて、講話をしてくださいました。3年生は4時間目、1,2年生は5時間目に講演を聞き、その後、教室に戻って、仲間づくりワークショップ「よいところ探し」に取り組みました。

【講話感想より】（3年生）

○何のために勉強するのかがあまりわかっていなかったのので、勉強することは将来を大きく左右することを知ったので、とてもありがたい話だった。気持ちが変わってよかった。

○I（わたし）を育てるために目標を持ち、優しさを発揮するために「聴くこと」「言葉遣い」「心の掃除」を大切にして幸せになろうと思いました。

○どんなにいじわるをしたり、反抗したりしている子ども、根はやさしくて努力したら変わるんだということが分かった。自分はもう勉強が手遅れだと思っていたけど、あきらめずに頑張ろうと思った。

○僕は勉強ができなくて、自信を無くしていました。だけれど、講話を聴いて、自分が将来困らないように今できることを全力でやろうと思いました。将来自分が幸せになれるよう、勉強を頑張ろうと思います。

【ワークショップ「良いところ探し」感想より】（1,2年生）

○母が、「あなたの存在がありがたい。」と言ってくれて、生きることって素晴らしいなと思った。

○僕はいつも「ダメだー」と思っているけど、この活動を通して、みんなが僕のことをこういう風に思ってくれているんだと思い、少し自信ができました。

○自分はいやだと思っていた部分を、他の人が良いと思ってくれていることを知った。良いところやと思っていることを言い合う機会はあまりないので良い経験になった。

◇文化祭合唱コンクール（11/6）

◇人権学習授業研究会 2年2組（11/26）



◇中体連ブロック駅伝（11/13 希望が丘）



◇町内6年生中学校授業体験（12/3）



2学期の学校の状況について

保護者の皆様へ

今年度は、市の方針により、学習参観等も制限があったことから、学校公開の機会をなかなか設定することができませんでした。市内中学校の中でも、今年は一度も参観の機会のない学校も多いのですが、本校については、PTAや地域の方からの協力も得ながら、文化祭合唱コンクールの様子を見ていただくことができました。例年であれば、文化祭の前後に学校公開週間が設定されていたのですが、今年については、文化祭当日を学校公開日として、保護者生徒ともに学年入れ替え制として、密と長時間の同一会場滞在を避けました。また、地域の学校関係者の方には、11月15日16日の2日間に分け、時間も限定しながら子どもたちの様子を見ていただく機会を設定し、その後、感想等の交流会を実施しました。今後、感染状況を見ながら、少しずつ再開をしていければと考えています。

2学期の学校の状況であります。全体としては、落ち着いた状況の中で授業は展開されており、個人の勝手な行動により、他の生徒の学習が妨げられるといった光景は見られませんでした。一定、周りの子の学習権を侵害しない、人に迷惑をかけないという意識は高まってきていると感じています。しかし、生徒全員が授業にきちんと向き合っているかというところではない場面も少なからずあります。授業中寝てしまったり、授業に関係のないものを出してみたり、本を読んだり・・・。今後は、指導者側の授業力向上とも合わせ、子どもの授業に臨む姿勢の高まりを目指していきたいと考えています。



生活面については、日課は毎日スムーズに流れています。登校時の手指消毒から始まり、静かな朝読書、そして午前中4時間の授業、給食準備をして、静かにビデオを見ながら、前を向いて給食、そしてあとかたづけ、本校は公共交通機関ダイヤの関係もあり、昼休みの設定時間が他校よりも短いのですが、給食の後片付けも、給食センターの運搬車発車時刻に遅れることなくこなせています。

しかしながら、ベル着ができなかったり、ソーシャルディスタンスを守らない生徒同士の距離感があったり、校舎内で休み時間に大きな声を出したりといったまだまだ気になる面はまだ多く見られるところです。中には、スマホを校内に持ち込み、教室内で取り出すといった行動をとる生徒もいます。

2学期の地域からの苦情やご指摘の声は、やはり、自転車の通学マナーやノーヘル、携帯電話に関するもの、公共の場所で周りの迷惑を考えずに騒ぐ、私有地の敷地内でよく集まる、などのお声をいただきました。そのつど現地を確認したり、該当生徒が分かった場合は指導してきました。また最近、学校や部活動の帰りに地域のショッピングセンターに立ち寄っている生徒がいるとの話も聞こえてきました。校舎内でお菓子を食べていた生徒がたくさん見つかり、何日もかけて関係生徒の指導を行ったことも今学期にはありました。

問題行動の状況ですが、11月末までに15件のいじめ認知をしています。（昨年度より大幅に件数が増えています。現在2学期末に実施したいじめアンケートの集約もしており、さらに認知件数は増加します。）

この数字は、昨年よりも学校の状態がよくないから件数が増えたということではなく、いじめの芽をできるだけ早期に発見し、積極的に小さいうちに認知することが必要との観点から、いじめ認知件数を少なくすることが目標ではなく、むしろいじめを広く大きくとらえ、早期に発見しようとした結果だと捉えています。

いじめは、誰にでもどこでも起こる可能性があります。被害・加害の関係も容易に入れ替わります。大切なことは、い

じめが深刻化するまでに、周辺の者が気づいて、解決に向けて取り組む中で、子ども自身が、解決への方法や道筋について学習し、人との関係調整能力を身に着け、社会に出ても自身で解決の道を探っていける力を育てていくことにあると考えています。

今年度認知したいじめの態様としては、からかいやじゃれあい、遊びという感覚の中から、いやな思いをするケースがほとんどでありましたが、中には、発見が遅れ、長期間にわたっていやな思いを受けていた事例やスマホやSNSの不適切な使用によるものもありました。

一般的に、いじめ行為を受けた生徒は、大きな不安を持ちながら学校生活を送ることに変わりはありません。また、心に大きな傷を残すことも少なくありません。乗り越えるのに時間がかかることも想定されます。だからこそ、早期に発見し、初期段階での対応が必要かと思えます。子どもたちの周りを取り巻く教員や保護者が、気になることは共有しながら、早期に解決に向け、力を合わせられたらと考えています。

今年度より、従来から行ってきた教育相談アンケートに加え、いじめに特化したアンケートを学期に1回実施し、子どもたち自身が、自分自身のこと、さらに周りの友達がしんどい思いをしていないかを見つめる機会としていますが、それでも、すべてのいじめ行為を把握することは、なかなかできるものではありません。学校の教員が気づけない気づかない間に、行為が進行することもあります。だからこそ、学校、保護者、地域がそれぞれの目で見えていく必要があるかと思えます。

ご家庭や地域の中で気になることがありましたら、担任や学年までご連絡をいただきますようお願いいたします。

先日来、お願いをしておりました学校評価アンケートにおいて何人かの保護者の方から、学校の指導に対して厳しい指摘をいただいています。いただいた声については、真摯に見つめ、日頃の教育実践を見つめ直していく材料としていきます。昨年度の状況から、幾分改善した部分はあるといえ、まだまだ本校には課題はたくさんあります。現在は、安心して通える学校づくりに向け、スタートラインに立ったばかり、歩み始めたばかりの状態とも言えます。学校としては、どの子も大切な生徒であり、個々に成長のスピードは違えど、個々の育ちの「現在地」を捉えながら、今、この生徒には何が必要かを考えながら支援していきたいと考えています。「集団として育てること」と、「個としての成長」を促すことのバランスを図りながら、今歩み始めた歩みを止めずに進んでいきたいと考えます。

学校評価については、冬休み中に集計し、3学期には結果をお知らせできるよう作業を進めてまいります。3学期は次年度へ向けた準備の期間でもあり、学校評価でいただいた声を参考にしながら次年度の方針や取り組みの重点を決定していきます。

指導の不十分な面はあり、ご心配やご迷惑をおかけしておりますが、良い学校づくりに向け、一歩ずつ歩みをすすめてまいります。今年4月以降、本校の教育活動にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げますとともに、今後も、学校の取り組みに対しまして、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

お知らせ

◇卒業式は3月15日（月）午後

市教育委員会との調整により、今年度の市内中学校卒業式については、3月15日（月）午後を開催することになりました。昨年度と同様に、式への参加は、卒業生、保護者、教職員とし、在校生の参加については見合わせることになりました。

◇「命の大切さを学ぶ学習」について

本校では、今年度、自他の命を大切にし、思いやりのある心優しい生徒の育成を目指し、「命の大切さを学ぶ学習」に取り組んでいます。

2年生は、パラアスリート宇田秀生さんとの交流を通して、障害を越えて、自らの命を輝かせるべく挑戦を続ける宇田さんの生き方を通して、自分の命、自分の生き方について考えました。

3学期は、修学旅行でできなかった平和学習の一環として、3年生を対象に、劇団道化（福岡県）による『「知覧・青春」～アイ・アム・ヒア～』の演劇鑑賞会を計画しています。戦時中に生きた女性の生き方を通して、「戦争の悲しさ」と同時に「人間の滑稽さ、すばらしさ」について考えます。

尚、この演劇は当初、3年生の学習としてお願いしたのですが、劇団のご厚意により、翌日に1, 2年生にも上演していただくことになり、劇団員の方は市内で宿泊し、信楽中で2日間にわたって2回公演をしていただきます。

さらに、1年生では、2学期人権学習の中で、車いすバスケット LAKESHIGA バスケットボールクラブと交流を行い、障害者理解、共生社会について考える活動を行ったことに加え、3学期には、滋賀県警察本部の協力のもと、田中博司さん、とし子さん夫妻にお越しいただき、「命の大切さを伝える～被害者にも加害者にもならないで～」と題した講話を予定しています。いずれの学年も道徳や学級活動とも連動しながら命について深く見つめる機会としたいと考えています。

◇制服・体操服等の値上げについて（購入したい方は年内に注文を！）

信楽商店協同組合様より連絡があり、令和3年1月より、指定標準服・体育衣料等の価格が、改定となります。原材料の高騰化の影響により、多くの商品が10%程度値上げとなっています（税込）。

在校生の皆さんでもし、追加購入の必要がある場合は、年内であれば、旧価格で購入できるということですので、指定業者さんで注文ください。

（土日祝日も電話連絡により対応いただけます）

信楽商店協同組合（TEL 82-0376） ヤスオカ（tel 82-0310） 田代呉服店（tel 82-0063）

◎主な価格改定（税込み）

品名	旧価格（R2 末まで）	新価格（R3,1,1 より）
学生服（155～170）	21,890	23,980
冬セーラー服	15,950	17,380
長袖トレーニングシャツS～L	4,730	5,170
トレーニングパンツS～L	4,730	5,170

他にも、たくさんの商品がありますので、組合に確認をしてください。

尚、スポーツバッグについては、メーカーさん等の都合により、現1年生から、紺色のみの販売となっており、エンジ色については販売がなくなっています。（在庫もないそうです）

今後は、信楽中バッグは、青色1色となります。

エンジ色バッグを兄弟や近所の方から譲り受けられた場合についても、今まで通り、学校で使っていただいて構いません。